

平成21年度実施事業

# 事業評価

第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く

2 住民自治の地域づくりを進める

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 85

所管部局	総務部	所管課	総務課	担当者名	大澤 忠和
事業名	行政事務委託費			事業分類	ソフト事業
細事業名	行政事務委託費			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

区長に対する行政事務委託費及び行政推進に関する情報紙等の区長宅への配布

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

住民自治の地域づくりをすすめる事業

### ②事業を実施する必要性

行政事務の遂行に住民の協力は不可欠であり、各区長に委託料を支払うことによって円滑に事務を遂行するもの。

## 3. 事業費の推移

		単 位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	16,151	16,173	16,174	16,373	16,480		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0		
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0		
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	16,151	16,173	16,174	16,373	16,480		
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.20	0.42				
人件費	千円	—	—	1,297	3,091				
事業費総額	千円	—	—	17,471	19,464				

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

区長への行政事務委託料の支払  
15,139,000円  
区長宅への各戸配布物の送致委託料支払  
1,234,272円

## 5. 事業結果の概要

月2回のお知らせ等配布  
隔月の市広報配布  
選挙公報配布  
地域要望取りまとめ  
各種役員選任 等

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 区長会の開催</b>		
各支所ごとに1回～3回の区長会を開催	年度当初、年末、年度末	市からの依頼事項等を円滑に伝えることができた。
<b>(2) 文書配布業務</b>		
年間24回市からの文書を各戸に配布。選挙公報などの配布も依頼している。	通年	概ね各戸に配布できたことにより、行政情報の提供が図れた。
<b>(3) 各種役員の推薦等</b>		
市からの各種役員の推薦をお願いした。環境美化推進委員、人権啓発推進委員、統計調査員、選挙立会人などの推薦にご協力いただいた。	通年	市の担当部署から全て選任することは困難であり、地元区長の協力で各役員の選任ができた。

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

区長に行政事務の委託をしており、その業務の一環として配付物の各戸配布をお願いをしている中で、量の減少を求める声が多く、関係部署等に減量の努力を求めているがなかなか減らない状況である。また、区長の位置づけが旧4町で異なっており、身分も曖昧な部分があることから、区設置規則改正等の検討が必要と考える。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
配布文書の減量化
- ②当該事業のアピール事項  
行政情報のスムーズな伝達
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
区長の立場の不明確なことについて整理ができていない。そのことにより、全市区長会組織について方向付けができない。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 89

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	村田 文雄
事業名	地域活性化支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	南丹市美山町振興会支援事業			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

地域を自らの手で作ろうと取り組みを展開している美山地域では、各地域で住民組織「地域振興会」を設立し、地域課題の克服や、新たな戦略による地域おこしの多様な活動に取り組んでおり、その活動に対して補助金を交付した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

集落や地域振興会が積極的に行う取り組みに支援を行うことで、少子・高齢化により、ますます増大する地域の負担を軽減するとともに、さらに主体的なコミュニティ活動の推進を図り、特色ある地域づくりを積極的に支援する。

### ② 事業を実施する必要性

自らの地域を自らの力で守り、発展させようという美山地域振興会の取り組みや、各集落の地域づくりの取り組みは、市民が主体となる町づくりを推進するために重要な役割をもつものである。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	10,000	10,000	8,700	7,500	7,500	7,500	7,500
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	5,000	5,000	4,350	3,750	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	5,000	4,350	3,750	7,500	7,500
職員等の従事人員	人/年	—	—		4.76			
人件費	千円	—	—		16,309			
事業費総額	千円	—	—		23,809			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

各振興会補助金	
知井振興会	1,500,000円
平屋振興会	1,500,000円
宮島振興会	1,500,000円
鶴ヶ岡振興会	1,500,000円
大野振興会	1,500,000円

## 5. 事業結果の概要

市民が主体となる地域づくりの推進は、協働、共助の意識を高め、地域の課題を地域で解決する力を高めることに繋がった。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 活動補助金		
大野振興会	4月1日～3月31日	
鶴ヶ岡振興会	4月1日～3月31日	
宮島振興会	4月1日～3月31日	
平屋振興会	4月1日～3月31日	
知井振興会	4月1日～3月31日	

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

当該する旧町地域固有の制度であるが、合併市町村の周辺部の新たな住民自治のあり方として、多くの視察があるなど全国的に注目されている。「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を施行したが、協働の地域づくりのモデルとして、これまでを検証する中で市域全体への普及や、それぞれの地域の特性に見合った制度づくり等の検討が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 123

所管部局	八木支所	所管課	地域総務課	担当者名	小西 富夫
事業名	地域活性化・経済危機対策事業			事業分類	施設管理費
細事業名	自治振興会館管理運営費			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 13.地域		

## 1. 事業の概要

自治振興会館の施設整備の実施した。

- ・エアコン取替え(西地区)
- ・防災用カーペット及び防災用カーテンに取替え（北地区・神吉地区）

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

市民のコミュニティ活動の拠点としての自治振興会館（西・北・神吉地区）の施設整備を図る。

### ②事業を実施する必要性

- ・西地区自治振興会館については、エアコンが壊れたため、これを取替え修繕したものである。
- ・北地区・神吉地区両自治振興会館については、消防署より指導を受け、防災用カーペット及びカーテンに取り替えたものである。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円				1,169		0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0		0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0		0	0
	国・府支出金	千円				1,000		0	0
	地方債	千円				0		0	0
	一般財源	千円				169		0	0
職員等の従事人員		人/年	—	—		0.05			
人件費		千円	—	—		384			
事業費総額		千円	—	—		1,552			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

- ・エアコン設置工事（西地区）  
873,600円
- ・カーペット及びカーテンを防災用に取替修繕(北地区・神吉地区)  
295,050円

## 5. 事業結果の概要

市民のコミュニティ活動の拠点として、より安心安全に活用できる施設となった。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金		
西地区自治振興会館については、エアコン整備 北地区・神吉地区両自治振興会館は、防災カーペット 等	年間	エアコン整備、防災カー ペット等

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

地域住民の活動拠点として、安全で快適なコミュニティの場として施設の整備ができたものとする。今後も施設の点検を行い、必要に応じて施設整備を進めたい。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1001

所管部局	八木支所	所管課	地域総務課	担当者名	谷村 孝一
事業名	地域振興関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	八木地域自治振興会館管理運営費			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

地元関係区・住民に地域自治振興、コミュニティ活動等のための会議・各種行事等で幅広く使用されている自治振興会館の管理運営を地元区で構成されている自治会・区長会等に管理委託する。

自治振興会館（西地区、南地区、北地区、神吉地区）は地元地域に指定管理  
自治振興会館（東地区）は八木町森林組合に管理委託

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

住民の福祉の向上と自治振興を図り、もって行政の円滑な推進に資する。

### ②事業を実施する必要性

自治振興会館の管理を地元へ委託することにより、地域コミュニティの活動拠点としての利用を図る。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,196	1,251	1,188	1,287	1,300	1,300	1,300
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,196	1,251	1,188	1,287	1,300	1,300
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.05			
人件費	千円	—	—		414			
事業費総額	千円	—	—		1,701			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

管理委託料（5施設）  
1,287千円

## 5. 事業結果の概要

利用状況  
西 188回  
南 484回  
北 183回  
神吉 104回  
東地 33回

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 委託業務		
5 地区公民館の委託事務、使用状況の把握	通年	5 地区公民館

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

自治振興会館を地域コミュニティの活動拠点としての利用を図るため、地元への管理委託をしているところである。その施設については、2施設（東・神吉）が老朽化が著しく、今後、地域コミュニティの活動拠点として利用を進めるには困難な状況にある。そのため施設整備をして行く必要があると考える。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1002

所管部局	日吉支所	所管課	地域総務課	担当者名	岡本 悦子
事業名	地域振興関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	日吉地域自治振興会館管理運営費			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

自治振興施設（日吉胡麻基幹集落センター、日吉産業振興会館、日吉殿田活力倍增センター、日吉林業センター、木住親水公園）の管理運営のための必要経費を支出する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

地域住民が利用する施設の維持管理に努め、住民活動の場を提供する。

### ② 事業を実施する必要性

施設の維持管理を行うことにより、地域住民が安心して集会等を開催でき、地域づくりに寄与する。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	6,577	5,937	7,468	6,877	7,810	7,826	7,826
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	1,972	1,972	1,972	1,972	1,972
財源内訳	使用料・手数料等	千円	2,526	2,512	2,595	2,654	2,684	2,620	2,620
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,050	3,425	4,873	4,223	5,126	5,206	5,206
職員等の従事人員		人/年	—	—		1.29			
人件費		千円	—	—		4,724			
事業費総額		千円	—	—		9,629			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

光熱水費	2,840,968円
修繕料	236,583円
保守点検	1,132,155円

## 5. 事業結果の概要

日吉産業振興会館…日吉町森林組合、南丹市商工会日吉支所、日吉町観光協会、日吉町建設業協会

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 施設の利用		
地域に密着した施設として、住民等が施設を利用した。	毎日（休館日等除く）	施設使用料
(2) 施設の保守		
消防設備点検、防火対象物点検	9月、3月	良好であった
施設の機械警備（日吉産業振興会館）	常時	防犯、防火対策を行った
施設植栽等管理（木住親水公園他）	年2回	除草、剪定等を実施し、良好な維持に努めた

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

バリアフリー対策として、一部施設で2足制から1足制に変更した。  
地域住民の方のより利便性の向上のため、指定管理に向けて検討していく。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1003

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	西田 豊
事業名	地域振興関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	美山地域自治振興会館管理運営費			政策体系	421
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

美山管内にある地域振興関連の市有施設の維持管理に係る経費を支出した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域振興関連施設を継続的に維持管理することにより、市民の活動施設として利用を促進する。

### ②事業を実施する必要性

地域振興関連施設を、市民に安全で快適に利用してもらえよう維持管理は必要である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	6,743	5,642	5,669	6,354	4,539	4,539	4,539
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	0	0	0	678	650	650	650
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	6,743	5,642	5,669	5,676	3,889	3,889	3,889
職員等の従事人員	人/年	—	—		1.32			
人件費	千円	—	—		5,155			
事業費総額	千円	—	—		11,509			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

光熱水費 1,931,705円  
 修繕費 1,792,212円  
 消耗品費他 92,549円  
 施設清掃委託料 372,012円  
 施設管理委託料 1,009,135円  
 工事請負費 997,500円  
 汲取料 122,097円

## 5. 事業結果の概要

適正な維持管理を行うことで、地域振興の拠点として多くの利用者を迎え入れることが出来ている。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) その他		
施設の維持管理のため、計画的に改修を行った。 施設の修繕、施設管理委託、工事請負費	4月1日～3月31日	施設の修繕 13施設 管理委託施設 2施設

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

建築から長期間が経過し、経年劣化に伴う修繕等の対応はやむを得ない。計画的な維持管理を実行するには、設備等個別の耐用年数等を勘案し、点検に基づく予算計画を立てる必要があり、管理者等と連携する中で検討している。利用率を高めるには、利用者のニーズに即応する施設のリニューアルが必要であり、管理者等との一層の連携が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 71

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	犬石 圭一
事業名	自治振興補助事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	自治振興補助事業			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

行政区が主体となって行う事業（集会所の新築や改築、公園等の新設や改良、地域組織の基盤構築等）に対し、事業費の2分の1を限度として補助金を交付することで、集落の活性化と自主的な活動を支援する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

地域の実情に応じた自主的、主体的なまちづくり活動を支援し、公民館、集会所など、地域コミュニティ活動の拠点整備を図る。

### ② 事業を実施する必要性

地域社会の健全な発展に資するため、地域住民自らが行う拠点整備事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、地域コミュニティの活性化に繋げる支援が必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	28,496	19,485	19,788	16,934	11,500	11,200	21,200
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	11,505	8,224	8,653	8,216	5,000	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,991	11,261	11,135	8,718	6,500	11,200
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.50	0.20			
人件費	千円	—	—	2,905	1,656			
事業費総額	千円	—	—	22,693	18,590			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

集会所新築	1件	10,000,000円
集会所増改築	7件	5,021,000円
公園・体育施設整備	4件	1,414,000円
市長特認	3件	499,000円

## 5. 事業結果の概要

それぞれの行政区の拠点整備が良好に実施された。

- ・園部地域 7件
- ・八木地域 3件
- ・日吉地域 5件
- ・美山地域は地域活性化・生活対策事業で実施（20繰越事業）

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<p>●危険防止対策、災害復旧事業 ●あずまや整備、ベンチ整備等 地域環境整備事業 ●地域美化、緑化推進事業 ●里山整備事業 ●特産物開発、農産物加工場及び販売所、体験農園整備等 地 場産業育成事業 補助率 1/2 以内、事業費最低額 20万円 補助限度額 200万円</p>		
<b>(1) 集会所建設事業</b>		
<p>行政区において住民が使用する集会所を新築又は増改築する際の補助金を交付。 補助率 1/2 以内、事業費最低額 30万円 補助限度額 新築 1,000万円 増改築 200万円</p>	7月～3月	<p>集会所新築 1件 10,000,000円 集会所増改築 7件 5,021,000円</p>
<b>(2) 公園・体育施設整備事業</b>		
<p>コミュニティ広場・運動公園・各種スポーツ施設及び附属施設等を新設又は改良する際の補助金を交付。 補助率 1/2 以内、事業費最低額 20万円 補助限度額 (公園整備) 2,000㎡未満 200万円 2,000㎡以上 3,500㎡未満 300万円 3,500㎡以上 400万円 (付属施設) 100万円</p>		<p>公園等改修 1件 204,000円 公園附属施設新築 3件 1,210,000円</p>
<b>(4) 特認事業</b>		
<p>その他コミュニティ活動を推進する事業で、市長が特に認める事業への補助金交付。 補助率 1/2 以内、事業費最低額 20万円 補助限度額 市長が認める額</p>		<p>エアコン設置 3件 499,000円</p>

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

公民館新築分(10,000千円)の他、各旧町2,070千円の枠となったが、予算上における不採択事業はなかった。今後も、地域づくりを推進するため、地域振興の拠点整備のための補助金交付事業として継続する必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
公平性の確保や予算の有効活用のため、採択事業の優先順序について議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
住民生活に密着し、要望に直接的に応えられる事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
地域要望に十分応えられるための予算確保が必要である。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 78

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	村田 文雄
事業名	地域振興関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	南丹市美山かやぶき美術館管理運営費			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

地域の観光施設である美山かやぶき美術館の管理費を支出した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域の観光施設として、また、地域の活性化拠点施設としての役割を果たすための事業。自主的・主体的な取り組みにより多彩なイベント企画も行い、地域の活性化を目指す。

### ②事業を実施する必要性

地域が主体的に都市交流事業に取り組み、地域資源を活かし文化・芸術の発信拠点として地域づくりを行い、雇用の創出の場ともなり得ている現状からも本事業は必要である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	400	419	326	2,666	1,110	1,310	1,310
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	1,095	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	400	419	326	1,571	1,110	1,310
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.15	0.26			
人件費	千円	—	—	1,135	764			
事業費総額	千円	—	—	1,461	3,431			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

施設管理委託料（指定管理料）	310,000円
設計委託料	164,850円
工事請負費	2,191,350円

## 5. 事業結果の概要

指定管理運営者の運営努力により、来館者の増加につながった。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活動結果等
<b>(1) 展示活動</b>		
<p>●京都伝統工芸職人展「用の美の空間2009」開催 主催：南丹市・京都匠塾●岡山夢咲村工房展 開催 ●安曇野の工房から 開催●中野 亘 陶器展 開催 ●ブライアン・ウィリアムズ展 開催●小野喜象墨 画展 開催●冬季（12月～3月）李庚墨絵展</p>	<p>展示期間：4月1日～4月26日、4月28日～5月31日、6月2日～7月26日、7月28日～9月13日、9月15日～11月15日、11月17日～11月29日 冬季12月～3月団体ツアーのみに開</p>	<p>入館者数：4月 897人、5月 910人、6月 557人、7月 463人、8月 534人、9月 826人、10月 764人、11月 650人、12月 76人、1月 18人、2月 310人、3月 149人</p>
<b>(2) イベント活動</b>		
<p>展示作家の協力により会期中のイベントを企画開催。 ●美術館春祭り 作家指導による体験交流を含め、地域住民が参画して特産品の販売、模擬店なども実施している。 ・ステンドグラスアクセサリ作り体験 ・ストーンアート体験●フルート・ピッコロ&amp;ギターコンサート 開催●美山かやぶき寄席 開催●夏休み子ども企画「縄文土笛づくり」 陶器作家中野亘氏の指導により、地域の子どもたち向けの土笛づくり教室を開催●エキシビジョンコンサート（竹笛・石笛、土笛、カリンバ） 開催●ブライアン・ギャラリートーク 開催 作家ブライアン氏の指導により中学生を対象に《環境と絵画～美のつながり》と題し講演、中学生の写生画作品について講評。●10月 第2回かやぶき寄席 開催</p>	<p>フルートコンサート：4月18日、かやぶき寄席：4月25日、春祭り：5月3日～4日、夏休み企画：8月3日、エキシビジョンコンサート：8月22日、ギャラリートーク：10月15日、第2回かやぶき寄席：10月24日</p>	<p>・アクセサリ体験 29名参加 ・ストーンアート体験 37名参加 ・かやぶき寄席（1回34人 2回60人） ・夏休み企画 25人参加 コンサートイベント：毎回 30人</p>
<b>(3) 施設維持管理</b>		
<p>●展示期間中警備保障会社と契約し、夜間、休館日の警備を委託している。●美術館施設の所有用地は広大な面積を有しており、周辺の草刈・草引き、展望を塞ぐ竹やぶの伐採、美術館内の庭木・樹木の剪定等の管理を人材センター等に依頼し、維持管理している。●施設が古くなっていることもあり、屋根の瓦部前面改修を行った。また、あわせて電気容量の不足が発生したため、急遽電気配線設備の修繕工事を実施した。</p>	<p>警備委託期間：4月～11月 周辺整備：4月～11月 毎月1回程度の草刈実施 年1回程度 剪定作業 2月～3月 屋根修繕工事、3月 電気配線設備工事 実施</p> <p>3月</p>	<p>警備委託費：100,800円 施設周辺整備・修繕費：611,500円 市工事請負経費により、屋根修繕工事費1,795,500円 電気配線設備修繕工事 395,850円</p>
<b>(4) HP</b>		
<p>●美山かやぶき美術館のホームページを所有し、定期的な更新とブログを活用した情報発信により、集客増の取組みを行っている。</p>	<p>随時</p>	<p>経費は指定管理者負担</p>

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

かやぶき屋根の民家を景観としても見せる希少な文化施設を、地域住民による地域づくりの一環として運営している。かやぶき屋根の修繕（葺き替え）等が定期的に必要であり、安定的な財源確保の検討が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点  
地域の都市農村交流の拠点施設としてどう活用するのか。
- ②当該事業のアピール事項  
かやぶき屋根の民家を景観としても見せる希少な文化施設を、地域づくりの一環として管理している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
かやぶき屋根の修繕（葺き替え）が定期的に必要であり、安定的な財源確保の検討が必要である。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 81

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	大秦 弘己
事業名	地域振興関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	南丹市美山大野総合サービスセンター管理運営費			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

大野総合サービスセンターの管理運営のための必要経費を支出した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

高齢者や女性による自主的な活動を支援し、農地の有効利用と所得保障及び生きがいがづくり進める施設として設置。

### ②事業を実施する必要性

農山村地域における産業振興と住民福祉及び生きがいがづくりなどを通じて、地域活性化を図るための拠点施設を住民に開放し、利用を図ることを目的とする施設の管理運営。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	900	1,068	896	817	800	800	800
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	900	1,068	896	817	800	800	800
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.15	0.21			
人件費		千円	—	—	870	813			
事業費総額		千円	—	—	1,766	1,630			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

トイレ修理代	16,590円
施設管理委託料（指定管理委託料）	800,000円

## 5. 事業結果の概要

施設の有効かつ適正な管理運営が可能となった。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) その他		
南丹市美山高齢者女性等生きがいセンターの管理運営を大野振興会に委託し施設の管理につとめた。研修室・相談室・特産品開発研究室での会議・研修会等の使用 利用者数 2, 0 4 5 人	4月1日～3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議、研修会</li> <li>・ 地元グループによる趣味の活動</li> <li>・ ミニデイサービスの実施</li> <li>・ 料理講習会</li> </ul>
1階フロアでの各種団体や個人（地元）の方の作品を展示することで、地元住民の表現する機会を提供できた。併せて、・ふるさと野菜おすそ分の集荷場及び観光案内マップを掲示している。	4月1日～3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真絵画の展示</li> <li>・ その他地元住民作品展示</li> <li>・ ふるさと野菜おすそ分</li> <li>・ 案内マップやポスターの掲示等</li> </ul>

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

地域づくりの拠点施設として、地域住民が積極的に管理運営に参画している。施設全体を指定管理として利用効果を高める努力はなされているが、町内の観光拠点や周辺関連施設との連携により集客力を高める工夫が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点  
維持管理経費の軽減を図るための方法について議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
地域づくりの拠点施設として、地域住民が積極的に参画している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
施設を直営管理と指定管理の部分に区分していたが、全体を指定管理として利用効果を高める。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 86

所管部局	八木支所	所管課	地域総務課	担当者名	中川 佳則
事業名	地域振興事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	地域振興事業			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

<p>南丹市消防団八木支団出初式で消防腕用ポンプ放水を実施するための訓練等に係る支援。</p> <p>①放水に伴う適正な腕用ポンプの維持管理                  ②事前の放水テスト及び、役員による放水訓練の実施                  ③本内容を踏まえた八木支団の活動                  ④その他地域振興イベント関連事業の実施</p>
---

## 2. 事業の目的と必要性

<p>①施策で目指す目標との関連付け                  南丹市消防団八木支団を中心とした消防活動の強化を図るとともに、防災意識の向上を図る。</p> <p>②事業を実施する必要性                  平成20年度で修復した消防腕用ポンプを活用し、防災意識の向上を図る。</p>
---

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円			476	200	200	200	200
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円		476	200	200	200	200
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.15	0.02			
人件費	千円	—	—	1,193	135			
事業費総額	千円	—	—	1,669	335			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

業務委託料	199.5千円
-------	---------

## 5. 事業結果の概要

<p>消防車も消防署もない時代、火災から村を守ってきた先人の魂伝えることで、住民の防火意識の高揚が図れた。</p>
---

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 操法訓練		
腕用ポンプ操法訓練	12月～1月 4回	出動人員延べ101人
(2) 操法披露		
南丹市消防団八木支団出初式で腕用ポンプ操法披露	1月10日	・出動人員 約320人 ・見学者多数

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

今回は、前年度に修復した消防腕用ポンプを活用し防災意識の向上を図る取組みである。こうした取組みは継続が必要であり、今後も実施していきたいと考える。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
人形劇の開催方法、腕用ポンプの活用方法
- ②当該事業のアピール事項  
人形劇等を支所施設という身近な場所で地元の団体の協力のもとに開催ができたこと。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
人形劇については、今後の継続について検討が必要腕用ポンプの防火活動への有効な活用方法について検討が必要

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 88

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	犬石 圭一
事業名	地域活性化支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	集落活性化支援事業			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

少子高齢化が著しく進み集落の維持が困難な地区において、集落維持・再生に繋がる支援策を検討し、国や府の支援策も活用しながら、市として一体感のある施策で地域実態に即した集落維持再生活動を支援する。本年度は庁内での内部調整による検討を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

集落の維持再生に繋がる課題の掘り起こしにより、安心して暮らせるまちづくりに繋げる。

### ②事業を実施する必要性

少子高齢化が進み、集落の維持活動が困難な地域においては、地域実態に即した集落や暮らしの維持・再生のための支援が必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				0	750	1,500	3,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0
	一般財源	千円			0	750	1,500	3,000
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.10			
人件費	千円	—	—		828			
事業費総額	千円	—	—		828			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

--

## 5. 事業結果の概要

本年度は、各支所との内部協議による支援策の検討を行った。

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

集落活性化支援事業の具体化のため、各支所との内部協議を行った。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成21年度の所属長評価

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 99

所管部局	八木支所	所管課	地域総務課	担当者名	小西 富夫
事業名	駅関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	コミュニティプラザよしみ管理運営費			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 10.交通		

## 1. 事業の概要

当施設は吉富駅と併設されており、乗降客による利用が日常的にある。施設の管理については、NPO法人八木町スポーツ協会に指定管理委託をし、経費節減を図りながらも気持ちよく利用できる施設として管理を行っている。

- ・アプローチホールやトイレ等の清掃
- ・駅前広場の清掃等管理
- ・ふれあいサロンの貸し出し業務等

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

吉富駅周辺の地域振興を図るため当施設の維持管理を行っている。その管理はNPO法人八木町スポーツ協会に指定管理委託をし、経費節減を図りながらも気持ちよく使えるよう施設管理を行う。

### ②事業を実施する必要性

当施設は駅と併設されており、乗降客による利用（アプローチホールやトイレ等）が日常的にあり、駅利用者、近隣地区としては、必要不可欠な施設として継続的な維持管理が必要となる。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,991	1,235	1,313	1,885	1,126	1,126	1,126
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	6	7	18	25	10	10
	国・府支出金	千円	0	0	0	379	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,985	1,228	1,295	1,481	1,116	1,116
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.10	0.05			
人件費	千円	—	—	742	384			
事業費総額	千円	—	—	2,055	2,268			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

- ・指定管理委託料 1,125,600円  
 委託料の主な支出内訳  
 賃金 462,060円  
 光熱水費 486,779円  
 その他 176,761円
- ・排水設備修繕工事 759,150円

## 5. 事業結果の概要

利用者が、安全に気持ちよく利用できる施設として管理ができた。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 施設管理		
● 駅前広場の自転車等の整理 ● トイレ・アプローチ ホールの掃除	年間を通して	利用者が施設を気持ちよく 利用できる。
● 駅前広場の植木の伐採 ● 花壇に花を植栽	春から秋	利用者が施設を気持ちよく 利用できる。
施設の手摺等の補修（ペンキ塗り）	3月17日	利用者が施設を気持ちよく 利用できる。
排水設備修繕工事 760千円	10月～11月	衛生的で良好な施設管理が 行える

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

当施設は、日常的に利用されており、利用者が気持ちよく利用できることが大切である。NPO法人八木町スポーツ協会には、その点に注意を払い施設管理を行ってもらっている。ただ、ふれあいサロンの利用頻度については、十分とはいえ、その対応が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
施設と利用者の安全対策等
- ②当該事業のアピール事項  
駅利用者に気持ちよく利用してもらえる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
ふれあいサロン利用のPRが必要。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 116

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	犬石 圭一
事業名	地域活性化・生活対策事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	自治振興補助金			政策体系	422
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 12.地域		

## 1. 事業の概要

国の臨時交付金を活用し、平成20年度に対応できなかった行政区が主体となって行う集会所の改築に対し、事業費の2分の1を限度として補助金を交付することで、集落の活性化と自主的な活動を支援。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域の実情に応じた自主的、主体的なまちづくり活動を支援し、公民館、集会所など、地域コミュニティ活動の拠点整備を図る。

### ②事業を実施する必要性

地域社会の健全な発展に資するため、地域住民自らが行う事業に対し、地域コミュニティの活性化に繋げる支援が必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				2,546			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0			
	国・府支出金	千円			2,546			
	地方債	千円			0			
	一般財源	千円			0			
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.02			
人件費	千円	—	—		166			
事業費総額	千円	—	—		2,712			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

集会所増改築 2,546,000円

## 5. 事業結果の概要

美山地域で集会所3件の拠点整備を実施。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金の交付		
美山地域の集会所を拠点整備 ・ 中公民館改修事業 616,000円 ・ 檜原公民館改修事業 1,076,000円 ・ 舟津公民館改修事業 854,000円	年間	美山地域で集会所3件の拠点整備

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、平成20年度不採択分に対し、事業を実施した。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

平成21年度実施事業

# 事業評価

第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く

3 多様な担い手のパートナーシップを育てる

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 56

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	中島 しのぶ
事業名	パートナーシップ推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	市民協働推進事業			政策体系	431
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

## 1. 事業の概要

南丹市における「市民協働」の在り方を、職員及び市民が協働ワークショップの開催などを通じて共通認識を持つとともに協働の意識を高め合い、市民が主体となって推進できる取り組みを検討する。  
また産学官の連携を推進し、知的資源の活用等によりさらに自立した活力ある地域づくりを推進する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

共に担うまちづくりの仕組みをめざして「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を制定し、市民との多様なパートナーシップを一層推進するため具体的な仕組みづくりをすすめる。

### ②事業を実施する必要性

行政、市民共に協働のあり方を重視した推進は不十分であり、意識の変革が求められる。そのために、本市の特性にあった市民協働の定義を見出し、市民と共通の認識を持ち合うことが重要であり、本事業の展開により市民と共に担うまちづくりの手法を検討する必要がある。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円			573	525	220	1,000	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			573	525	220	1,000	1,000
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.40	0.45			
人件費		千円	—	—	2,644	3,092			
事業費総額		千円	—	—	3,217	3,617			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

・南丹市市民と共に担うまちづくり手法検討委員会  
512,500円（委員報償費等）

## 5. 事業結果の概要

・南丹市市民と共に担うまちづくり手法検討委員会による協議を終え、同会からの提言書の提出を受けた。  
・提言書による市民意見を尊重しつつ、「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を制定した。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 検討組織の推進</b>		
●市民と共に担うまちづくり手法検討委員会 有識者、市民委員による検討委員会を開催し、南丹市の特性にあった協働のあり方を検討した。●市民共同プロジェクト委員会 全課から代表者を選任して組織したプロジェクト委員会において、行政事務事業の現状を見直し、今後の協働事業への展開について検討を進めた。	4月～11月	・検討委員会（15人）10回の検討委員会を開催 ・検討内容を提言書としてまとめ、提出を受けた。
<b>(2) 条例制定</b>		
検討委員会の提言を受け、市民参加と協働の推進を図るため、条例制定を目指した。	3月	「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を制定した。
<b>(3) 広報</b>		
●ホームページ、広報なんたんへの掲載 検討委員会の協議の予定や話し合われた内容、協働に関する説明等をホームページ、広報なんたんに掲載し、周知を図った。	4～3月	特集やシリーズで関連記事の掲載を行った。

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」からの提言書の提出を受け、「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」を制定した。今後は、この条例に基づく市民参加や協働を適切に推進するため実施計画を策定し、推進委員会を設置する。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ②当該事業のアピール事項  
住民参加条例の制定により、自助・共助・公助のバランスを重視した地域経営体制の確立が図れる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
本市の特性にあった市民協働の定義による条例制定が必要である。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 60

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	中島 しのぶ
事業名	ふるさと南丹応援寄附金推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	ふるさと南丹応援寄附金推進事業			政策体系	431
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

## 1. 事業の概要

「ふるさと南丹応援寄附金」制度により、市の魅力や取組みを内外にアピールし、まちづくりへの応援者を増やし寄附支援を募る。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

より多くの市民（市内在住でない方々を主な対象として）が、様々な機会をとらえて市民等がまちづくりに参画できる仕組みをつくるための事業。

### ②事業を実施する必要性

より多くの市民（市域の在住していない方々を主な対象として）本市のまちづくりに参画していただく仕組みづくりが必要であり、新たにスタートしたふるさと納税制度を活用して、寄附によってまちづくりを応援する「ふるさと南丹応援寄附金」として内外に情報発信する必要があった。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円			72	5	51	88	88
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			72	5	51	88	88
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.15	0.05			
人件費		千円	—	—	1,113	384			
事業費総額		千円	—	—	1,185	389			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

事務消耗品 5千円

## 5. 事業結果の概要

ふるさと南丹応援寄附金として、寄附を募った。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 制度の運用と周知		
●ふるさと南たん応援寄附金の運用 関係課との調整により「ふるさと南たん応援寄附金」制度について市ホームページの掲載で周知し、寄附金を募った。	4～3月	・ 寄附金申出者 9件 ・ 寄附受納額10,120,000円

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

南丹市のまちづくりを応援し参画できる仕組みであるとともに、税制上の優遇措置を受けられる事業であることをPRし、今後も継続して事業推進する。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ②当該事業のアピール事項  
南丹市のまちづくりを応援し参画できる仕組みであるとともに、税制上の優遇措置を受けられる事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
今後も継続して事業推進をする。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 28

所管部局	企画管理部	所管課	情報推進課	担当者名	矢田 浩一
事業名	広聴活動費			事業分類	ソフト事業
細事業名	広聴活動費			政策体系	434
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 2.文書		

## 1. 事業の概要

市政懇談会の開催。出前講座の開催。南丹市政へのご意見箱の設置。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

市民ニーズを認識し行政サービスの向上を図る。

### ②事業を実施する必要性

市政懇談会では、市のまちづくりの方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞き、「市民の参画と協働」によるまちづくりを進める。地域づくり出前講座は、おおむね10人以上の団体の集まりで地域づくりに役立てていただくため、市職員が講師として出向き、市の事業や施策などについて説明する。これらの事業を実施することにより、市民ニーズを認識し行政サービスの向上が図れる。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円			73	55	34	34	34
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0
	一般財源	千円			73	55	34	34
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.10	1.00			
人件費	千円	—	—	6,909	7,496			
事業費総額	千円	—	—	6,982	7,551			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

市政懇談会会場使用料	33,600円
ご意見箱購入費	21,168円

## 5. 事業結果の概要

市政懇談会	8会場で開催
出前講座	5回開催

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 市政懇談会</b>		
8会場で開催。「共に語ろう、これからのまちづくり」をテーマに、市民からの意見や要望を聞く懇談中心の内容で実施。	10月20日、10月26日、11月4日、11月6日、11月17日、11月19日、11月24日、11月25日	10月20日64人、10月26日50人、11月4日28人、11月6日30人、11月17日32人、11月19日32人、11月24日56人、11月25日71人
<b>(2) 出前講座</b>		
市の職員が講師として会議や集会に出向き、市の事業や施策などについて説明。34テーマ。	4月18日、6月25日、7月29日、11月26日、12月14日	4月18日15人、6月25日17人、7月29日19人、11月26日27人、12月14日20人
<b>(3) ご意見箱</b>		
市長にご意見・ご提言をお寄せいただき、市政に生かす。市民の皆さんと情報を共有するため、広報なんたんや市ホームページに市からの回答と併せて紹介する。	市ホームページや窓口（4カ所）に「ご意見箱」を設置し随時受付	49件受付。広報なんたん2・3月号にQ&Aを掲載

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

「市政懇談会」については、開催時期・開催回数・内容について検討を重ね、行政からの説明中心の懇談会から市民と行政との意見交換に重点を置いたことにより、地域の課題やこれからのまちづくりについて共に考え合う懇談の場が持てた。併せて、市のホームページや本庁及び各支所に「ご意見箱」を設置し、市政に対する意見や提言を数多くいただき、今後の市政運営の参考になった。

今後は、「市政懇談会」「出前講座」とともに、開催案内やアンケート集計結果等を広報紙等で広く市民に情報提供し、市民参加へと繋げていく必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
市民の生の声を聞くため、より多くの広聴の機会を設定する方法を検討した。
- ②当該事業のアピール事項  
行政懇談会では市幹部が市政の課題について説明し、直接市民の声を聞くことができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
市政懇談会の開催日時、会場設定、テーマ、参加者の再検討。

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 58

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	中島 しのぶ
事業名	パートナーシップ推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	達人バンク推進事業			政策体系	435
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

## 1. 事業の概要

市域に存在する多様な人材を掘り起こし、求める市民に情報を提供できる仕組みづくりを行うとともに、優れた技能等を持った市民が活躍できる場をつくる。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

地域の伝統行事や伝統文化をはじめ、様々な分野の熟練者や後継者を登録してまちづくり等に登用できる人材制度の設置をめざす。

### ② 事業を実施する必要性

多彩なアイデアや豊富な知識、優れた技能をもつ市民は多く存在するが、それらを発揮して活躍できる仕組みはなく、活発な市民相互の交流や支援の仕組みづくりが必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				0	25	50	50
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0
	一般財源	千円			0	25	50	50
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.05			
人件費	千円	—	—		312			
事業費総額	千円	—	—		312			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

支出 なし

## 5. 事業結果の概要

達人バンク制度確立に向けて、ルールを整理を行った。  
 市内高校の専門科の特長を活かし、ホームページによる「達人バンク」制度を周知し市民が楽しく活用できるサイトを作成に取り組んだ。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 制度の制定		
より多くの市民等が登録し、気軽に利活用できる「達人バンク」制度の制定		「達人バンク設置要綱」を策定した
(2) ホームページの作成		
市内高校の協力を得て、市民への周知と活用しやすい環境づくりのため、ホームページを作成する。	1～3月	京都聖カタリナ高等学校の協力をいただき、市民が親しみやすいホームページの作成を行った。

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

専門的な知識、技能や優れた経験等を有している人材を発掘し、その情報を活用できる仕組みをつくるため「達人バンク」のホームページを構築した。今後、達人バンクへの登録、活用を推進することにより、生涯学習や様々なまちづくり活動への機会を広げる。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

平成21年度実施事業

# 事業評価

第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く

4 大学等と連携し、ともにまちをつくる

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 91

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	村田 文雄
事業名	地域活性化支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	美山町産官学公連携協議会支援事業			政策体系	441
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 9.地域		

## 1. 事業の概要

美山地域の住民組織・団体、南丹市と包括協定を結んでいる佛教大学、南丹市美山支所の連携により、地域課題への解決に向けた取り組みを進めている産官学公連携協議会の活動に対して補助金を交付した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

産官学公連携協議会に参画するそれぞれの立場の住民組織が積極的に連携を図り、地域課題の解決に向け協働のまちづくりを推進していく。

### ② 事業を実施する必要性

地域課題の中でもとりわけ少子高齢化に伴う人口の減少は地域力の低下をもたらしている。地域の元気を創り出すにはそこに住む住民の「やる気」と、安定した経営基盤の確立である。そのためには地域に新しい風をおこす新住民の定住や、豊富な知識をもった大学教授陣のアイデア、また学生による斬新なアイデア等が必要不可欠である。これらを一体的に事業展開するには、いくつもの組織が連携し事業推進することが必要である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	0	0	730	523	523	523	523
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	365	261	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	365	262	523	523
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.22			
人件費	千円	—	—		1,322			
事業費総額	千円	—	—		1,845			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

産官学公連携協議会への活動補助  
 補助金 523,000円

## 5. 事業結果の概要

過疎化が進む地域内において課題ごとに設置しているプロジェクトを横断的に連携させ、行政・大学・住民組織が一体となり、地域資源を活かした協働のまちづくりが展開できた。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>Iターン・Uターン定住促進 プロジェクト</b>		
●各地区振興会と各地区事務局長との会議を開催した。	6月18日、10月29日	2回の会議を開催し、現状や課題を共有出来た。
<b>モデルフォレスト推進プロジェクト</b>		
●宮脇地区モデルフォレスト活動（内容：下刈り・間伐作業、学習会、間伐、しいたけ原木伐り作業） ●江和地区モデルフォレスト活動（内容：植樹作業） ●中地区モデルフォレスト活動（植樹、南地区里山エリアの下刈り作業）	4月18日、7月4日、10月17日、11月11日・13日・14日・15日・21日	地元等との協力により美山管内の3ヶ所で実施することが出来、都市住民との交流や山林の保全にも繋がった。
<b>景観・環境保全プロジェクト</b>		
●希少植物（ベニシヤクヤクの実態調査の実施、 ●環境美化活動（美山クリーンリバー作戦の実施） ●景観保全のための人材育成（小学生対象の水辺の生き物教室の実施） ●景観育成・保全活動（3,000球の水仙の植栽、“かやぶきの里前川づくりワークショップ”の開催）	実態調査（8月3日） クリーンリバー作戦（5月23日、6月6日） 水辺教室（8月8日） 水仙の植栽（10月17日・24日・25日、11月22日） 研修会（1月26日）	
<b>特産品開発と販売プロジェクト</b>		
地元の素材にこだわった商品の開発にむけた取り組みを行った ●米粉パンの試食アンケートの実施 ●「大野農産加工グループ」の和菓子「黄金芋」について、販売用資材の支援などを行った。		

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

地域課題に即応した地域づくりのプロジェクトを明確にし、関係者が連携する中で十分な議論がなされているが、事業化に向けた財源確保で行き詰る。市域内のモデルケースとして、市の支援をどうするのか、市内での認知を得るためにどう情報発信するのか等の検討が必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 57

所管部局	美山支所	所管課	地域総務課	担当者名	大秦 弘己
事業名	パートナーシップ推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	大学等連携協力事業			政策体系	442
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

## 1. 事業の概要

まちづくりを考えるフォーラムの開催や大学生の受け入れを行い、大学との連携によるまちづくりが推進できた。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

大学との連携により、発展的な新たなまちづくりを考える機会を作る。

### ②事業を実施する必要性

学生等の意見を聞くことにより、新たな発想が生まれる。また、地域との交流を深め地域行事への学生の参画を促進するため、大学との連携事業を行う必要がある。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	272	249	482	193	155	220	220
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	272	249	482	193	155	220
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.25	0.20			
人件費	千円	—	—	1,715	938			
事業費総額	千円	—	—	2,197	1,131			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

佛教大学連携会議費	42,840円
美山フォーラム開催経費	150,000円

## 5. 事業結果の概要

大学や学生との連携により、新たなまちづくりへの提言や事業を実施することが出来た。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) インターシップ受入</b>		
●インターンシップ生受入 社会人として働くための知識・経験を積むために、実際の職場において体験をする学生を受け入れている。21年度においては美山支所の内勤業務（事務補助）以外に、地域振興会主催の地域の催し等の業務などの内容で受け入れた。	8月3日～7日、8月10日～15日	2名の学生を受入 5施設に勤務
<b>(2) ゼミ研修</b>		
●新入生歓迎行事 平成21年度の社会教育学部公共政策学科新入生の研修行事。南丹市・美山町の概要等について研修。 美山町内施設見学	開催日：4月25日	学生136名 地域内の4施設の見学
<b>(3) フィールドワーク実習</b>		
●フィールドワーク実習 学生が美山町をフィールドとして学習、研修の場として訪れる。美山町内の各施設、研修目的により、聞き取り調査及び体験を通し美山の生活実態、観光、福祉、環境、コミュニティビジネスなどについて学び、地域住民との交流を深めている。聞き取り調査等のデータについては教材として活用される以外に、美山のまちづくりについてのデータとしても活用されている。	6月6日～7日・13日～14日・20日～21日・27日～28日、11月14日～15日・21日～22日・28日～29日、12月5日～6日	4クラスから学生計294人
<b>(4) 美山フォーラム</b>		
●美山フォーラム 平成21年度 第4回目となるフォーラムの開催 南丹市・美山まちづくり委員会・佛教大学の共催で開催。 「美山の魅力と可能性Ⅳ」～都市生活者の今と市場開発への着眼点～と題し、マーケティングコンサルタントの飯塚敬士氏の基調講演や美山町で地域活動をしている5人の方から報告を受ける形のパネルディスカッションを実施した。	開催日：2月15日	参加者：地域住民(南丹市全域から参加者あり) 約200名

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

佛教大学との包括連携協定の締結から、実績を積上げる中で、地域づくりの視点から市民に認知されてきている。地域課題の解決のためには、大学に一層斬新な提起と具体的な事業化を期待する声も大きく、ステップアップする新たな方向付けも必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点  
地域づくりのために、どう具体的に連携を図っていくのか議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
少子化により地域に同年代がいない今日、学生の若い力と発想で地域の元気が再生される。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
提案、提言のあった地域づくりを具現化していくための財源確保。